

事務事業実績測定調査

事務事業名称	公立保育所維持管理業務										
測定年度	2021(R3)年度			部	子ども未来部			課	公立保育幼稚園課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	~	年度まで
根拠法令等	児童福祉法				
関係補助金名称				サンセット	-
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公立保育所及び小規模保育施設に入所している乳幼児			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	保育所等に通所する乳幼児が安全で衛生的な場で保育を受けられるよう必要な警備や施設保全、保守点検等を実施する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公立保育所施設及び小規模保育施設を適切に維持管理、環境整備を行うことで保育の場の安全、衛生面が確保されている状態				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 各保育所に用務員を配置し日常の清掃等を行う。 警備委託をはじめ、施設にある設備等の維持管理、点検等を専門業者により行う。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						公立保育所が適正に維持管理されている。				公立保育所の施設保全や保守点検等を行う。			
	指標説明					修繕料に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				保守点検等実施件数			
指標設定	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度					減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	分析					各施設の老朽化により修繕件数は増加傾向にある。				必要な保守点検等を適正に行った。			
	達成度									100%			

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	10.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	9.20
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配直をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	84,466	85,725	74,825		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	14,036	0	19,995		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	98,502	85,725	94,820		
	物件費計	91,355	92,817	86,230	96,969	89%
	歳出計	189,857	178,542	181,050		
歳入	国庫支出金	907	943	930	851	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	3,619	0	0	
		歳入計	907	4,562	930	851
	一般財源	188,950	88,255	85,300	96,118	

5. 総括的分析

総括的分析	警備委託をはじめ、施設にある設備等の維持管理、点検など専門性の高い業務については、外部委託により実施することで、適切な施設の維持管理を実施した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	保育環境・衛生環境の効率的かつ効果的な維持管理を継続する。災害時には被害状況の確認を速やかに行い、適切な対応を行っていく。また、技能労務職のあり方、技能労務職員等の配置基準の見直しの検討を進め、事業費削減への取り組みを進めていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	公立保育所管理運営事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	子ども未来部			課	公立保育幼稚園課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	~	年度まで
根拠法令等	児童福祉法				
関係補助金名称				サンセット	-
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	公立保育所及び小規模保育施設に通所する乳幼児
	サブターゲット	公立保育所及び小規模保育施設に通所する乳幼児の保護者
	ターゲットが抱える課題	保育所等に通所する乳幼児が安全で安心な保育を受けられるよう適正な人員配置を行うほか、保育所運営に係る各種業務委託等を実施する必要がある
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	保育所等に通所する乳幼児が適正な人員配置の下保育を受けられ、保育所運営に係る各種業務委託等が適正に実施される
-----------------------	--

事業概要	<p>公立保育所及び小規模保育施設(以下、「保育所」という。)における適切な保育を実施する。 平成30年10月に1園、及び平成31年1月に2園の小規模保育施設を開設。 平成30年4月1日現在の入所児童数は1,279人。平成30年度において、乳児保育(11園)、延長保育(17園)、障害児保育(17園)を実施。また、17施設の管理運営を以下の内容等をもって実施。 ・保育所運営に係る人員の配置(特別職非常勤職員の募集、臨時職員の雇用など) ・保育所運営に係る各種業務委託の実施(園外保育に伴うバスの借り上げなど) ・調理業務(入所児への給食の提供)の実施 ・3歳児以上の完全給食の実施</p>
------	---

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)	
	適正な管理運営により、保育所等に通所する乳幼児が安全で安心な保育を受けられる。	各種業務委託等を通じて、適切な管理運営を行う。	適切な保育を実施できるよう、各種業務委託等を行う。	
指標設定	指標説明	公立保育所の管理運営に係る苦情件数	円滑な保育運営を適切な管理運営のもと実現した保育所数	各種業務委託等を実施している保育所数
	指標種類	減少することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標	減少することが良いとされる指標
	指標数値	単位: 件	単位: 箇所	単位: 園
	目標(見込み)	R2: 0, R3: 0, R4: 0, R5: 0	R2: 17, R3: 16, R4: 15, R5: 15	R2: 17, R3: 16, R4: 15, R5: 15
	実績	R2: 0, R3: 0	R2: 17, R3: 16	R2: 17, R3: 16
	達成度		100%	100%
分析	全公立保育所等において適切な管理運営を行った。	全公立保育所等において適切な管理運営を行った。	保育所等運営に係る各種業務委託を適正に実施した。	

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	210.39
任期付職員	72.09
会計年度任用職員	132.31
特別職非常勤	22.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,178,250	2,237,095	1,943,235		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	118,254	200,236	397,247		
	特別職非常勤	—	5,363	5,217		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	2,296,504	2,442,694	2,345,699		
	物件費計	145,163	169,128	171,232	187,227	91%
	歳出計	2,441,667	2,606,101	2,516,931		
歳入	国庫支出金	100,143	0	3,763	3,306	
	府支出金	50,195	22,534	1,564	909	
	受益者負担(使用料・手数料)	238,343	3	984	1,302	
	市債	0	0	0	0	
	その他	15,011	26,308	20,993	27,414	
		歳入計	403,692	60,031	27,304	32,931
	一般財源	2,037,975	103,376	143,928	154,296	

5. 総括的分析

総括的分析 適正な人員の配置や各種業務委託等を通じて、保育所の適切な管理運営を達成した。また、災害等の緊急時において保育を実施する必要があることから、水やアルファ化米等を備蓄した。また、認可保育所等に申込みをし、かつ待機となっている児童を受け入れるため、令和3年10月よりさだ西臨時保育室を開設した。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	適切な保育が実施できるよう、適正な人員配置や、効果的な予算執行を図っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	公立保育所保育環境整備事業										
測定年度	2021 (R3) 年度			部	子ども未来部			課	公立保育幼稚園課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2009 (H21) 年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	児童福祉法				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	公立保育所及び小規模保育施設			
	サブターゲット	公立保育所及び小規模保育施設に通所する乳幼児			
	ターゲットが抱える課題	老朽化している保育所施設については安全性や衛生面の観点から改善する必要がある			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	老朽化等により改善が必要となった公立保育所内の設備について修繕や補修工事を実施し、安全で衛生的な環境が整備されている状態				
事業概要	老朽化等により安全性や衛生面において改善が必要となった保育所施設等(設備)について、環境整備を行う。 ・修繕、補修工事の実施(床張替え、様式トイレへの切り替え、電灯衛生器具の交換等)				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						保育所施設等(設備)の環境が適正に整備されている。				保育所施設等(設備)について、修繕、補修工事の実施を行う。			
指標説明						補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				修繕、補修工事の実施件数			
指標種類		単位				単位 %				単位 件			
指標設定		減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
指標数値		目標(見込み)				100以内	100以内	100以内	100以内	120	120	120	120
		実績				76	0			152	134		
達成度										88%			
分析						対象工事がなかったため実績なし				各施設の老朽化も進んでいることから、当初の見込みよりも修繕件数が増加した。			

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	1.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	9,620	7,178	7,857		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	9,620	7,178	7,857		
	物件費計	48,130	91,452	0	0	—
	歳出計	57,750	98,630	7,857		
歳入	国庫支出金	622	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	38,300	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	622	38,300	0	0
	一般財源	57,128	53,152	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析 令和3年度は対象となる工事がなかった。

6. 今後の方向性

区分 現状維持

今後の取組方針 今後更なる老朽化に対応するために、適切な修繕、補修工事を実施し、安全かつ衛生的な保育環境維持を努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	保育士等研修事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	子ども未来部				課	公立保育幼稚園課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち											
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	内部管理		特性		内部事務		区分		一般内部管理事務				
事業期間	2014(H26)年度				年度	～				年度まで			
根拠法令等	児童福祉法第11条 地方自治法施行令第174条の26及び同施行令第174条の49の2												
関係補助金名称							サンセット						
関係附属機関名称													

事業対象	メインターゲット	市内保育所等の保育担当職員										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	日々の業務の中で、障害児保育や虐待対応等について学ぶ機会が少なく、業務だけで専門性を強化することが難しい。										
	ターゲットが抱える課題											

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	保育士への研修を行うことにより、専門性を強化し、保育の質の向上につながり、安心した保育を行うことができる。											
---------------------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業概要	<p>中核市移行に伴い、以下の3種の研修について、市で実施をしている。</p> <p>就学前人權研修については、人權が尊重された就学前教育をめざして今日的な課題への対応の在り方について、教育心理学・障害児教育学の教授による講演の実施。</p> <p>障害児研修については、障害児保育の実施に必要な知識及び技術について、発達心理学、障害児心理学の教授による講演の実施。</p> <p>認可外保育所研修については、保育従事者の必要な知識及び技術について、虐待対応等について家庭児童相談員等による講演を実施。</p>											
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
					各種研修を通じて、専門性を強化し、保育の質の向上につながり、安心した保育を行うことができる。				保育士等に対し、各種研修を実施。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明				研修に参加した延べ人数				各種研修の実施件数					
	単位				単位 人				単位 件					
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)実績						300	300	300	300	8	7	8	7
達成度						191%				86%				
分析						オンライン研修を実施したことにより、目標値を大きく上回った。				目標値を概ね達成した。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	2,405	2,393	3,143		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	2,405	2,393	3,143		
	物件費計	512	1,047	1,419	1,722	82%
	歳出計	2,917	3,440	4,562		
歳入	国庫支出金	256	523	490	490	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	256	523	490	490
	一般財源	2,661	524	929	1,232	

5. 総括的分析

総括的分析	就学前人權研修103人、障害児研修312人、保健研修159人の公私立保育所(園)等の保育士等の参加があった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き対面による研修開催に加え、オンライン研修を開催することで、多くの保育士等が参加できる環境整備を行っていき、保育士等の質の向上に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	預かり保育事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	子ども未来部			課	公立保育幼稚園課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち								
	実行計画名		15-2.保育環境等の充実								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択的事业			区分	一般事務事業			
事業期間	2015(H27)年度			年度	~			年度まで			
根拠法令等	決裁										
関係補助金名称							サンセット				
関係附属機関名称											
事業対象	メインターゲット	子どもを預けたい意向を持つ保護者									
	サブターゲット	枚方市立幼稚園に在園する園児									
	ターゲットが抱える課題	子どもを預ける場所を確保できず、就労できない。									
	ターゲットが抱える課題										
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	安心して子どもを預けながら、就労できる状態										
事業概要	保護者支援の充実の一環として、幼稚園で一時預かりを実施し、幼児の心身の健全な発達を促すとともに、幼児教育の充実と保護者の子育て支援及び就労支援の充実を図る。 保護者支援のさらなる充実を図るため、従来実施していなかった新学期準備期間(4月1日から4月7日)についても預かり保育を実施する。										

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	園児を安心して預けることができ、保護者の子育て支援及び就労支援が充実したものとなる。	幼稚園に園児を預ける。				幼稚園で園児の預かり保育を実施する。							
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明	「預かり保育についてのアンケート」における「保護者の方は、預かり保育を効果的に利用できていますか?」の質問項目に対する肯定的評価(「利用できている」)の割合 【算出式:アンケートにおいて「利用できている」と回答した人数/アンケート回答者数×100】				利用者数				実施日数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	達成度	130%				114%				97%			
分析	目標値を達成した。				実施日数の増加等により利用者数が増加した。				従来実施していなかった新学期準備期間についても新たに実施したことにより、実施日数が増加した。				

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	0.30
任期付職員	6.00
会計年度任用職員	26.53
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	25,590	3,190	28,457		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	45,697	61,002	43,760		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	71,287	64,192	72,217		
	物件費計	71	44	100	185	54%
	歳出計	71,358	64,236	72,317		
歳入	国庫支出金	1,018	3	26	0	
	府支出金	509	3	26	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	3,032	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
		歳入計	4,559	6	52	0
	一般財源	66,799	38	48	185	

5. 総括的分析

総括的分析	幼児の心身の健全な発達を促すとともに、幼児教育の充実と保護者の子育て支援及び就労支援の充実を図るため、延べ1,752回の預かり保育を実施した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	預かり保育を拡充し、幼児教育教室の充実を図る中で、保護者の活用状況や要望、参加状況等を見極めながら、幼児にとって安全・安心な遊び場を提供し、子育て支援の一層の充実を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	公立幼稚園管理運営事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	子ども未来部				課	公立保育幼稚園課			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2	R3			R4					
総合計画体系	基本目標				3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち									
	施策目標				15.子どもたちが健やかに育つことができるまち									
	実行計画名				15-1.子育て支援の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス			特性	選択的事业			区分	一般事務事業				
事業期間	不明			年度	~				年度まで				
根拠法令等	学校教育法												
関係補助金名称									サンセット				
関係附属機関名称	教育委員会												

事業対象	メインターゲット	公立幼稚園在園児										
	サブターゲット	公立幼稚園の園児の保護者・地域の2、3歳の未就園児とその保護者										
	ターゲットが抱える課題	公立に通園する園児が安全で安心な教育を受けられるよう適正な管理運営を行うとともに、地域の2、3歳の未就園児とその保護者が教育力向上及び子育て不安が軽減を図れる取り組みをする必要がある。										

めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	幼稚園教育要領で求められている教育を円滑に推進できるとともに、園児や保護者、地域の2、3歳の未就園児及び保護者が安心して登園し、教育力向上及び子育て不安の軽減等を図れるよう適切な管理運営が実施される。											
-----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業概要	<p>公立幼稚園(以下、「幼稚園」という。)における適切な教育を実施する。</p> <p>令和2年4月1日現在の入所児童数は490人。令和2年度において、3年保育(6園)、2年保育(1園)、預かり保育(7園)、支援教育(7園)を実施。幼稚園教育要領で求められている教育を円滑に推進できるとともに、小学校への滑らかな接続をめざした幼小連携の推進や、幼児に豊かな心を育む多様な体験の機会の提供など、幼児教育の充実を図る。また、保護者支援の充実の一環として、家庭の教育力を高めるとともに、子育て不安の軽減等を図るために、地域の2・3歳の未就園児及び保護者が、安心して遊び、交流できる場を提供する。</p> <p>そのため、7施設の管理運営を以下の内容等をもって実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営に係る人員の配置(職員管理、会計年度任用職員の雇用など) ・運営に係る必要な経費の円滑な運用 <p>【拡充内容】</p> <p>①幼稚園給食の実施 保護者負担の軽減を図るため、公立幼稚園において給食の提供を行う。モデル事業として、枚方版こども園2園の在園児のうち、希望する児童に対して給食を提供し、検証を行う。</p> <p>②幼稚園ICTシステムの導入 登降園や園児台帳等の管理について、ICTシステムを導入して情報管理する。</p> <p>③防犯カメラの増設 市立幼稚園に設置されている防犯カメラについて、園の出入りを確認できる箇所への対応のため、機器を増設する。</p>											
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)					インプット(活動)				
	幼稚園に通園する園児や保護者、地域の2、3歳の未就園児及び保護者が安全で安心な教育を受けられる。					幼稚園の運営経費について適正な執行管理が行われる。					幼児に豊かな心を育む多様な体験の機会の提供など、幼児教育の充実を図るため、各幼稚園が円滑な運営に必要とする予算の要求に対し、適切に内容の精査を行う。				
指標設定	指標説明	利用者アンケートにおける肯定的な評価(「満足」または「やや満足」)の割合【算定式: 肯定的回答者数/回答者総数*100】				幼稚園の運営に要する経費に対する決算額の割合【算定式: 決算額/当初予算額*100】				各幼稚園の予算要求に対し、適切に審査した園数					
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)	97	98	99	100	85	85	85	85	7	6	6	6		
	実績	98	98			86.70	94.49			7	6				
	達成度	100%				111%				100%					
	分析	目標値を達成した。				適切に予算を執行した。				全市立幼稚園において、適切に審査を行った。					
ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)					アウトプット(活動結果)					インプット(活動)				
	幼稚園に通園する園児や保護者、地域の2、3歳の未就園児及び保護者が安全で安心な教育を受けられる。					未就園の幼児と保護者が幼児教育教室に参加する。					地域の2、3歳の未就園児とその保護者を対象とした幼児教育教室を実施する。				
指標設定②	指標説明	利用者アンケートにおける肯定的な評価(「満足」または「やや満足」)の割合【算定式: 肯定的回答者数/回答者総数*100】				参加者数				実施箇所数					
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標(見込み)	97	98	99	100	4,500	4,500	4,500	4,500	7	6	6	6		
	実績	98	98			180	494			7	6				
	達成度	100%								100%					
	分析	目標値を達成した。				新型コロナウイルスのため対象を限定して実施した。				全市立幼稚園で実施した。					

ロジックモデル③	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	幼稚園に通園する園児や保護者、地域の2、3歳の未就園児及び保護者が安全で安心な教育を受けられる。	健康状態が把握され、疾病の早期発見、必要に応じた事後指導など、園児・児童・生徒の健康保持につながる。	園児・児童・生徒等の健康診断を定期的実施する。	
指標設定③	指標説明	利用者アンケートにおける肯定的な評価(「満足」または「やや満足」)の割合【算定式: 肯定的回答者数/回答者総数*100】	定期健康診断の受診率 【算出式: 受診者数/対象者数*100】	健康診断を実施している幼稚園数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 %	単位 %	単位 園
	目標(見込)	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	実績	97 98 99 100	100 100 100 100	7 6 6 6
	達成度	100%	100%	100%
	分析	目標値を達成した。	全ての園児が検診を受診した。	全市立幼稚園で実施した。

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	21.23
任期付職員	16.16
会計年度任用職員	5.38
特別職非常勤	24.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	186,510	288,756	237,100		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	25,456	10,916	14,532		
	特別職非常勤	-	4,345	3,761		
	附属機関委員	-	0	0		
	人件費計	211,966	304,017	255,393		
物件費計	19,696	34,441	44,458	47,048	94%	
歳出計		231,662	336,059	299,851		
歳入	国庫支出金	0	1,187	763	1,161	
	府支出金	0	2,861	3,343	4,790	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	78	82	4,596	3,075	
	歳入計	78	4,130	8,702	9,026	
一般財源		231,584	27,912	35,756	38,022	

5. 総括的分析

総括的分析	<ul style="list-style-type: none"> 地域の2,3歳の未就園児とその保護者を対象とした幼児教育教室を全市立幼稚園において実施し、延べ494人の参加があった。 全市立幼稚園において健康診断を実施し、すべての対象児童が検診を受診した。 令和3年10月より、枚方幼稚園、田口山幼稚園において幼稚園給食のモデル実施を開始した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、幼少連携の推進や多様な体験の機会提供など幼児教育の充実を図るとともに、保護者支援充実の一環として、家庭の教育力向上や子育て不安の軽減に向けた取り組みを進める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	公立幼稚園環境整備事業										
測定年度	2021(R3)年度			部	子ども未来部			課	公立保育幼稚園課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3	R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち								
	施策目標		15.子どもたちが健やかに育つことができるまち								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	不明		年度	~	年度まで
根拠法令等	学校教育法				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称	教育委員会				

事業対象	メインターゲット	公立幼稚園の園児
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	公立幼稚園に通所する乳幼児が安全で衛生的な場で保育を受けられるよう必要な警備や施設保全、保守点検等を実施する必要がある。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)
 公立幼稚園施設を適切に維持管理、環境整備を行うことで保育の場の安全、衛生面が確保されている状態。老朽化等により改善が必要となった公立幼稚園内の設備について修繕や補修工事を実施し、安全で衛生的な環境が整備されている状態。

事業概要
 ・各幼稚園に用務員を配置し日常の清掃等を行う。
 ・警備委託をはじめ、施設にある設備等の維持管理、点検等を専門業者により行う。
 ・老朽化等により安全性や衛生面において改善が必要となった幼稚園施設等(設備)について、環境整備を行う。
 ・修繕、補修工事の実施(床張替え、洋式トイレへの切り替え、電灯衛生器具の交換等)

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
						幼稚園施設等(設備)の環境が適正に整備されている。				公立幼稚園の施設保全や保守点検等を行う。			
指標説明		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
						修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				保守点検等を実施した園数			
		単位				単位				単位			
指標種類						減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
指標数値	目標(見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					100以内	100以内	100以内	100以内	7	6	6	6
達成度						98%				100%			
分析						当初予算において見込んだ必要な工事等について適正に実施した。				全公立幼稚園において保守点検等を実施した。			

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	3.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	2.40
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	26,857	30,305	29,857		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	6,627	6,234	5,929		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	33,484	36,539	35,786		
	物件費計	20,094	8,037	49,280	50,642	97%
	歳出計	53,578	44,576	85,066		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	53,578	8,037	49,280	50,642	

5. 総括的分析

総括的分析	<ul style="list-style-type: none"> 各幼稚園に校務員を配置し日常の清掃等を行った。 警備委託をはじめ、施設にある設備等の維持管理、点検など専門性の高い業務については、外部委託により実施することで、適切な施設の維持管理を実施した。 公立幼稚園の維持補修として、サダ幼稚園と田口山幼稚園のトイレ改修工事(ドライ化)を行うとともに、枚方幼稚園のスロープ設置工事を行い、園児が安全かつ衛生的に過ごせる環境を整備した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 保育環境・衛生環境の効率的かつ効果的な維持管理を継続する。災害時には被害状況の確認を速やかに行い、適切な対応を行っていく。 保全計画に基づく施設全般の維持保全及び予防保全工事を計画的に進めるとともに、園からの要望に対し緊急性や安全性を最優先とした工事や修繕により、良好な環境の維持に努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	学校保健会支援事業(幼稚園)													
測定年度	2021(R3)年度				部	子ども未来部				課	公立保育幼稚園課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち											
	施策目標		16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	内部管理				特性				内部事務		区分		一般内部管理事務	
事業期間	不明				年度	~						年度まで		
根拠法令等	学校保健安全法													
関係補助金名称												サンセット	-	
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		学校保健関係者(学校医、学校歯科医、学校薬剤師、教職員、PTA、教育委員会)											
	サブターゲット		枚方市立幼稚園の幼児											
	ターゲットが抱える課題		幼稚園生活を安全・安心に過ごすことが出来るための調査研究協議をする場が少ない。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	学校保健会の事業の円滑な実施について支援する。													
事業概要	<p>幼児一人ひとりの健康・安全の保持増進を目指し、会員相互が連帯して学校保健が当面している諸問題について調査研究協議を進め、学校保健の推進と実践活動を行うために次の事業を行う。</p> <p>(1) 保健安全、衛生思想の普及啓発 (2) 学校保健の振興に必要な計画及び事業 (3) 学校保健に関する調査研究 (4) 学校保健関係者の交流及び研究活動の支援 (5) その他本会の目的達成に必要な事業</p>													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
					枚方市学校保健研究大会に学校保健関係者及び市民が参加する。				枚方市学校保健研究大会を開催する。					
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	指標説明		単位		単位		人		単位		回			
	指標種類				増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標							
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標(見込み)				100	100	100	100	1	1	1	1	
	実績					0	0			0	0			
	達成度						0%				0%			
分析						新型コロナウイルスのため開催できなかった。				新型コロナウイルスのため開催できなかった。				

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	401	0	0		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	401	0	0		
	物件費計	11	11	10	10	100%	
歳出計		412	11	10			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		412	11	10	10		

5. 総括的分析

総括的分析 (1) 幼児・児童・生徒一人ひとりの健康・安全の保持増進を目指し、会員相互が連携して学校保健が当面している諸問題について調査研究を進めるため、負担金の支払いを行った。
 (2) 枚方市保健会総会並びに講演会の実施支援、総会参加人数 0人
 (3) 枚方市立学校保健研究大会の実施支援 研究大会参加人数 0人
 ※(2)(3)のいずれも書面開催

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も引き続き、学校保健会の目的達成に必要な事業の実施支援を行い、学校保健の推進を図っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	就学前支援教育推進事業													
測定年度	2021(R3)年度				部	子ども未来部				課	公立保育幼稚園課			
市長公約との関係	所信表明			市政運営方針	R2	R3			R4					
総合計画体系	基本目標			3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標			16.子どもたちの生きる力を育む教育が充実したまち										
	実行計画名													

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス			特性	選択的事业			区分	一般事務事業				
事業期間	2005(H17)年度				年度	~			年度まで				
根拠法令等	決裁												
関係補助金名称								サンセット					
関係附属機関名称													
事業対象	メインターゲット			障害児、医療的ケアを必要とする児童									
	サブターゲット												
	ターゲットが抱える課題			個に応じた支援を受ける機会を充実する必要がある。									
	ターゲットが抱える課題												
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	支援教育の充実が図られ、個々の状況に応じた支援を受けることができる状態。												
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 支援教育コーディネーター、支援教育担当臨時講師、生活支援員を配置し、支援の必要な公立幼稚園に在籍する園児の発達支援、生活支援を行う。 看護師を配置し、医療的ケアを必要とする幼児における日常生活を支援する。 市内公立幼稚園に相談員を派遣し、保護者や教職員に対して、相談や指導・助言を行う。 就学前の幼児を対象とし、専門的な言語訓練や指導及び、相談活動を行い、スムーズな小学校就学につなげる。 												

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	支援教育の充実が図られ、個々の状況に応じた支援を受けることができる。				相談員の派遣により、対象の職員、園児に対し、適切な指導・助言を行うことができる。				公私立幼稚園に在籍する発達障害等の園児への支援のため、公私立幼稚園に相談員を派遣する。					
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	支援が必要と認められた園児に対する支援率【算出式:支援をしている園児数/支援を必要とする園児数×100】				専門家による指導・助言回数				公私立幼稚園への専門家派遣園数					
	単位: %				単位: 回				単位: 園					
	指標種類: 増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)		100	100	100	100	20	320	320	320	10	10	10	10
	実績		100	100			379	304			15	13		
達成度: 100%				95%				130%						
分析: 目標値を達成した。				新型コロナウイルス感染症の影響により、指導・助言回数が目標値に達しなかった。				目標値を達成した。						
ロジックモデル②	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	支援教育の充実が図られ、個々の状況に応じた支援を受けることができる。				配慮が必要な園児に支援教育担当臨時講師、生活支援員を配置し、支援教育が推進される。				市立幼稚園の支援教育推進の中心となる支援教育コーディネーターを配置し、支援教育担当臨時講師、生活支援員の活動を指導する。					
指標設定②	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	支援が必要と認められた園児に対する支援率【算出式:支援をしている園児数/支援を必要とする園児数×100】				支援教育担当臨時講師、生活支援員の配置数				支援教育コーディネーター配置園数					
	単位: %				単位: 人				単位: 園					
	指標種類: 増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)		100	100	100	100	10	30	30	30	7	6	6	6
	実績		100	100			46	52			7	6		
達成度: 100%				173%				100%						
分析: 目標値を達成した。				支援を必要とする園児に対して、適切に人員を配置した。				全市立幼稚園に配置した。						

ロジックモデル③	アウトカム (活動効果)	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	支援教育の充実が図られ、個々の状況に応じた支援を受けることができる。	看護師を配置することにより、対象幼児の市立幼稚園における日常生活を支援する。				医療的ケアを必要とする幼児のため、看護師を配置。							
指標設定③	指標説明	支援が必要と認められた園児に対する支援率 【算出式:支援をしている園児数/支援を必要とする園児数×100】				看護師を必要とする園児数				看護師の配置人数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	100				2				3			
	達成度	100%				100%				150%			
	分析	目標値を達成した。				配置した看護師により、対象園児の市立幼稚園における日常生活を支援した。				看護師を必要とする園児に対して適切に人員を配置した。			
	目標(見込)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績	100	100	100	100	2	2	2	2	2	2	2	2

3. 人員体制 (人)

	R3
正職員(再任用)	0.50
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	24.10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費 会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	2,806	24,410	3,929		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	37,591	17,419	69,797		
		特別職非常勤	—	0	0		
		附属機関委員	—	0	0		
		人件費計	40,397	41,829	73,726		
	物件費計	4,687	5,326	4,602	5,331	86%	
歳出計		45,084	47,155	78,328			
歳入	国庫支出金	2,984	3,032	0	0		
	府支出金	0	0	2,446	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	2,984	3,032	2,446	0		
一般財源		42,100	2,294	2,156	5,331		

5. 総括的分析

総括的分析	<ul style="list-style-type: none"> ・全市立幼稚園に支援教育コーディネーターを配置するとともに、支援教育担当臨時講師及び生活支援員を52名配置し、支援を必要とする園児の発達支援、生活支援を行った。 ・令和3年度は、医療的ケアを必要とする在園児が2名いたため、看護師を配置した。 ・市内の公私立幼稚園等13か所に相談員を派遣し、保護者や教職員に対して、延べ304回の相談や指導・助言を行った。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	障害のある子どもに対して、社会的障壁を取り除くために行われる合理的配慮の観点の踏まえ、基礎的環境整備を整えていくとともに、本人・保護者の意向を受け止め、合意形成を図りながら支援教育の充実を図っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	公立保育幼稚園課運営事務										
測定年度	2021(R3)年度			部	子ども未来部			課	公立保育幼稚園課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外								
	施策目標		99.施策体系外								
	実行計画名										

1. 事務事業の概要

種類	内部管理		特性	庶務的事務			区分	庶務的内部管理事務				
事業期間	2016(H28)年度			年度	~	年度まで						
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称							サンセット					
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	公立保育幼稚園課の所属職員										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	課の運営が円滑に行われている											
事業概要	公立保育幼稚園課の予算及び決算に関する事務、職員の給与、休暇、人事、服務に関する事務、物品購入、物品管理事務、文書の收受、発送、管理事務など。											

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
指標設定	指標説明												
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標(見込み)											
	実績												
	達成度												
	分析												

3. 人員体制 (人)	
	R3
正職員(再任用)	1.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.80
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。
 (千円)

4. 決算額

		R1決算額	R2決算額	R3決算額	(参考)R3予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	8,017	9,570	11,000		
	会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	1,574		
	特別職非常勤	—	0	0		
	附属機関委員	—	0	0		
	人件費計	8,017	9,570	12,574		
	物件費計	427	187	241	305	79%
	歳出計	8,444	9,757	12,815		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	5	0	0	0	
		歳入計	5	0	0	0
	一般財源	8,439	187	241	305	

5. 総括的分析

総括的分析 必要な事務処理など、公立保育幼稚園課の運営を行った。

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	適切な業務運営に努める。